

## 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

本ガイドラインは、現状を踏まえ関係諸機関のガイドライン等の情報を用いて作成していますが、使用者の責任において活用するガイドラインです。大会主催者として、最大限安全に配慮して運営を行いますが、大会に関わる全ての方の新型コロナウイルスへの感染に対して、いかなる場合においても責任を負いかねますので、予めご了承ください。

### 1 基本方針

- (1) 大会参加者（選手・監督）及び大会運営スタッフ並びに大会開催地の住民の生命、健康の安全を最優先とし、大会開催に係る感染リスクに対し必要な対策を講じるものとする。
- (2) 大会開催にあたっては、三密空間（密閉・密集・密接）を避けるとともに、大会に関わる全ての密接者が「新しい生活様式」に基づく感染症対策を実施する。

### 2 大会開催判断に関する要件

- (1) 全国的に緊急事態宣言等が発出された状況にないこと。
- (2) 菊池市において、イベント開催及び施設利用が認められており、熊本県において都道府県間の移動制限がないこと。
- (3) 出漕申し込み後、緊急事態宣言等による参加辞退があった場合にあっても2/3以上の参加があること。
- (4) 大会開催は、上記（1）から（3）の要件を総合的に判断し、開催2週間を目途に主催者がある可否を判断する。開催不可となった場合、決定した日の1週間後までに参加団体あてメールにて通知する。ただし、開催決定後であっても、全国的な感染拡大が認められた場合には主催者判断により大会を中止する場合もある。

### 3 大会参加に係る前提条件

- (1) 大会出場団体にあつては、各都道府県または選手の学校及び所属団体等において活動が認められていること。
- (2) 所在する都道府県において緊急事態宣言が前日または当日に発出されている団体等は大会出場を辞退を検討していただきます。
- (3) 感染または感染経路として疑われる場合の別表の参加判断基準を参照し、参加が認められる状態にあること

### 4 本大会の開催

- (1) 開催地の自治体の方針に従うことを前提とし、日本ボート協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うボート競技大会開催に係るガイドライン」を参考に作成した本ガイドラインを遵守すること。
- (2) 全国の感染状況やスポーツイベント等におけるクラスターの発生状況や開催地の自治体の要請等により大会の中止または規模縮小など適正な対応を行う。  
上記に関わらず、主催者が感染対策のために有効であると判断した場合には、参加クルー数・競漕種目・レース距離・競漕日程等や大会の規模を縮小する場合がある。

(3) 本大会の開催については、下記の対応を前提として実施する。

- ①無観客での開催
- ②開会式、閉会式は行わない
- ③代表者会議は行わない（周知資料の配布等で代替え）
- ④表彰式の簡略化
- ⑤大会に関わる者の大会前、7日間の健康スクリーニングを行う。

## 5 大会参加者及び主催者・スタッフの遵守事項

### (1) 共通事項

#### 1) 大会開催前の防疫

- ①大会関係者は、大会開催7日前から毎日、「健康チェックシート 大会前用」によりスクリーニングを行うものとする。
- ②出場選手にあつての健康スクリーニングは、「健康チェックシート（大会前用）」を用い毎日記録し引率者またはチーム代表者が管理・保管し公式練習日当日に本部へ提出する。
- ③「感染または感染が疑われる場合の参加基準」に照らし合わせ、これに該当する場合は参加を認めない。その場合は、会場から速やかに退去し、その旨を主催者に報告すること。

#### 2) 大会当日の防疫

- ①大会関係者は期間中、毎朝「健康チェックシート 当日用」に記録し本部へ提出する。
- ②当日の体温が平熱より1度以上高い場合または、37,5度以上だった場合、その他の新型コロナウイルス感染症が疑われる症状があった場合、参加は認めない。  
該当者及び濃厚接触者は会場に入らず速やかにその旨を主催者に報告すること
- ③毎日、会場到着後は、スタッフを含む大会参加者は、本部へ「健康チェックシート 当日用」を提出し見える場所に **ADカードにシール【本部にて配布】を張り付けて**会場に入ること。
- ④レース以外では、マスクの着用を原則実施すること。
- ⑤大会期間中に大会本部・艇庫・休憩所・トレーニングルームを使用する場合は各所に設置した消毒液で消毒を行うこと。
- ⑥ソーシャルディスタンスを守るとともに屋内では定期的な換気を行う。
- ⑦飲料水やタオル等の物品は、自分以外の人と共用しないようにすること。